

岩 波

西洋人名辞典

増補版

增補

西洋人名辭典

增補版

岩波 西洋人名辞典 増補版

© 岩波書店 1981

1956年10月16日 第1刷発行

1981年12月10日 増補版第1刷発行

編集 岩波書店編集部

発行者 緑川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

発行所 株式会社 岩波書店

電話 03-265-4111

振替 東京6-26240

Printed in Japan

増 補

本 文	1
付 録	253
索 引	271

1. 見出し人名の頭部に付した*印は、旧版既収人名の追記であることを示す。
2. 文中に*印を付した人名は旧版本文で、*印を付した人名は増補で独立項目として収録されていることを示す。
3. →印(見よ項目)を付した人名は、すべて増補人名に関するものである。

各国元首表(増補)索引

アイスランド共和国	265	キューバ共和国	261	ニカラグア共和国	261
アイルランド共和国	263	ギリシア	266	ニジェール共和国	259
アフガニスタン	253	ギリシア王国		ニュージールランド	268
アフガニスタン王国		ギリシア共和国		ノルウェー王国	265
アフガニスタン共和国		グアテマラ共和国	261	ハイティ共和国	261
アフガニスタン民主共和国		クウェート国	255	パキスタン・イスラム共和国	253
アメリカ合衆国	260	ケニア共和国	257	ハシミテ・ヨルダン王国	256
アラブ首長国連邦	254	コスタリカ共和国	261	パナマ共和国	261
アラブ連合共和国	255	コートジヴォアール共和国	258	ババハレン国	256
アルジェリア民主人民共和国	254	コモロ・イスラーム連邦共和国		パラグアイ共和国	262
アルゼンチン共和国	262		258	ハンガリー人民共和国	267
アルバニア人民共和国	266	コロンビア共和国	262	バングラデシュ人民共和国	253
アンゴラ人民共和国	256	コンゴ人民共和国	258	フィンランド共和国	266
イエメン	254	ザイール共和国	258	ブラジル連邦共和国	262
イエメン王国		サウディ・アラビア王国	255	フランス共和国	264
イエメン・アラブ共和国		サントメ・プリンシペ民主共和国		ブルガリア人民共和国	266
イエメン人民民主共和国			258	ブルンディ共和国	259
イギリス	263	ザンビア共和国	258	ベニン共和国	259
イスラエル国	254	シエラレオネ共和国	258	ベネズエラ共和国	263
イタリア共和国	263	ジブチ共和国	258	ベルー共和国	263
イラク	254	シリア	255	ベルギー王国	265
イラク王国		シリア共和国		ボツワナ共和国	259
イラク共和国		アラブ連合共和国		ポーランド人民共和国	267
イラン	254	シリア・アラブ共和国		ボリビア共和国	263
イラン王国		ジンバブウェ共和国	258	ポルトガル共和国	265
イラン・イスラム共和国		スエーデン王国	265	ホンデュラス共和国	262
インド共和国	253	スーダン民主共和国	256	マダガスカル民主共和国	260
ウガンダ共和国	257	スペイン王国	264	マラウイ共和国	260
ウルグアイ東方共和国	262	スリランカ民主社会主義共和国		マリ共和国	260
エクアドル共和国	262		253	南アフリカ共和国	260
エジプト	255	スワジランド王国	258	メキシコ合衆国	262
エジプト共和国		セイシェル共和国	258	モザンビーク人民共和国	260
アラブ連合共和国		赤道ギニア共和国	258	モーリシャス	260
エジプト・アラブ共和国		セネガル共和国	258	モーリタニア・イスラム	
エチオピア	257	ソウェート社会主義共和国連邦		共和国	256
エル・サルバドル共和国	261		267	モロッコ王国	256
オーストラリア連邦	267	ソマリア民主共和国	259	ユーゴスラヴィア社会主義	
オーストラリア共和国	264	タンザニア連合共和国	259	連邦共和国	266
オートヴォルタ共和国	257	チェコスロヴァキア社会主義		リビア	256
オマーン国	255	共和国	267	リビア王国	
オランダ王国	264	チャド共和国	259	リビア・アラブ共和国	
オクル国	255	中央アフリカ共和国	259	リビア・アラブ社会主義人民	
ガーナ共和国	257	チュニジア共和国	256	リジャマ・ヒリーヤ	
カナダ	261	チリ共和国	262	リベリア共和国	260
カボベルデ共和国	257	デンマーク王国	265	ルーマニア社会主義共和国	266
ガボン共和国	257	ドイツ民主共和国(東独)	264	ルワンダ共和国	260
カメルーン連合共和国	257	ドイツ連邦共和国(西独)	264	レソト王国	260
ガンビア共和国	257	トーゴ共和国	259	レバノン共和国	256
ギニア人民革命共和国	257	ドミニカ共和国	261	ローマ教皇	265
ギニア・ビサウ共和国	257	トルコ共和国	256		
キプロス共和国	255	ナイジェリア連邦共和国	259		

ア

アイアコッカ Ia'cocca, Lido Anthony Lee 1924. 10. 15- アメリカの企業経営者。父は南イタリア出身でレンタカー業を営み、幼時から自動車に関心をもった。リーハイ大学で産業工学、プリンストン大学で機械工学を学び、フォード社に入社(1945)。セールスマンとしての手腕を認められ、事業部のゼネラル・マネジャーに就任(60)、スポーツ・タイプの車〈ムスタング〉を開発、グループ副社長となり、フォード社の黄金時代をつくり出した。ヌードセン(S. E. Knudsen)社長解任後フォード社社長になったが(68)、フォード*二世と合わず、解任された(78)。その後クライスラー社再建のため、同社社長(78)、会長(79 来)に就任。

アイエルマン Ei'ermann, Egon 1904. 9. 29-70. 7. 19. ドイツの建築家。ベルツィヒ*のもとで学ぶ。ベルリンの〈ニコラスゼーの住宅, 1936 頃〉など、1930 年代においても国際様式を保持していたが、第二次大戦後は、構造から展開した単純で明快なデザインによって、現代ドイツの指導的建築家となった。〈ブルームベルクのハンカチーフ工場, 1951〉は、工場建築のすぐれた例として知られているが、ブリュッセル万国博(58)の〈ドイツ館〉の建築(ルーフ Sep Ruf と共同)は世界的に高く評価された。ベルリンの〈グヴェルム皇帝記念教会, 1959-62〉は、戦災による廃墟と新建築を共存させることによって劇的效果をもたらしたものとして有名。【主作品】前記のほか：エッセン炭鉱事務所, 1958-60；ワシントンのドイツ大使館, 1961-65。

アイゲン Ei'gen, Manfred 1927. 5. 9- 西ドイツの物理化学者。ゲッティンゲン大学卒業。マクス・プランク生物物理化学研究所長(1964 来)。熱測定などの研究、ことにそれを応用する極めて速い化学反応の研究に従事。短時間パルスによる均衡擾乱による高速化学反応の研究で、(G.)ポーター*、ノリツギ*と共にノーベル化学賞を受賞(67)。さらに生化学的高速反応の研究へと進んでいる。【主著】Technics of organic chemistry, 1958；Mechanism of inorganic reactions (R. G. Wilkins と共著), 1965。

アイサード I'sard, Walter 1919. 4. 19- アメリカの経済学者。地域科学および平和研究のパイオニアの一人。テンブル大学卒業、ハーヴァード大学で研究のち、マサチューセッツ工科大学助教授(1953-56)をへてペンシルヴァニア大学教授(56 来)。『立地と空間経済 Location and space-economy, 1956』で、独占的競争の理論と立地論との総合を試みた。地域学会 (Regional Science Association) を創設(54)、『地域分析の

方法 Methods of regional analysis, 1960』で地域科学の基礎を築いた。また紛争解決を主要テーマとする平和研究グループの中心となり、〈平和研究学会(国際)〉(Peace Research Society, International)の創設(63)に重要な役割を果たした。【主著】前記のほか：General theory : social, political, economic and regional (T. E. Smith と共著), 1969；Regional input-output study (T. Langford と共著), 1971。

アイゼンク Ey'senck, Hans Jurgen 1916. 3. 4- イギリスの心理学者。ドイツ生れ。ロンドン大学で学位(1940)。同大学教授として(55 来)、モーズレー病院内の精神医学研究所心理部部長。行動、学習の研究を行なったが、とくにパーソナリティーの実験的研究、その測定で知られ、因子分析によって、パーソナリティーの神経症的次元、内向性・外向性を問題にした。また社会的態度、政治心理学にも関心を示した。MPI (モーズレー性格検査)は彼が作製したものである。行動療法の名称で、この領域の研究を集大成した『Behaviour therapy and the neuroses, 1960』は有名である。【主著】前記のほか：Dimensions of personality, 1947；The scientific study of personality, 1952；The structure of human personality, 1953；Uses and abuses of psychology, 1953；The psychology of politics, 1954；Sense and nonsense in psychology, 1957；Dynamics of anxiety and hysteria, 1957；Perceptual processes and mental illness, 1957；Experiments in behaviour therapy (編), 1964。

アイドゥー Hajdu', Etienne 1907. 8. 12- フランスの彫刻家。東欧トランシルヴァニア地方に生まれ、ブダペストの装飾美術学校、ウィーンの美術学校に学んだのちにパリに出て(1927)、ブルデル*の指導を受ける。フランスに帰化(30)。ロダン*、ロマネスク彫刻などの影響を経て抽象彫刻にむかう。大理石の丸彫、銅板やアルミ板の打ち出し浮彫などを制作。パリのジャヌ・ビュッシュ画廊での個展(46)。一種荘厳な静けさをおびた作風によって知られる。

***アイゼンハウアー Ei'senhower, Dwight David** 大統領選挙に再び当選(1956)。中東における共産主義支配に対し軍事力発動を考慮する旨のアイゼンハウアー・ドクトリンを発表(57)、レバノンへ派兵した(58)。緊張緩和のためソ連邦のフルシチョフ*首相を招いて会談し(59)、パリでイギリス・フランス・ソ連との首脳会談開催の運びとなったが、U2 型機事件(60. 5)の処理の不手際によって首脳会談は実現せず、ソ連からの招待も取消された。続いて日本を訪問する予定であったが、日本の反安保闘争のために実現しなかった(同. 6)。国内では黒人問題が深刻となり、また対外政策の失敗、ソ連の人工衛星の開発によってアイゼンハウアー政権の人気は低下した。大統領告別演説(61. 1)で軍と大企業の複合体が政治を支配する危険を指摘した。

アイヒマン Eich'mann, Karl Adolf 1906. 3. 19-62. 5. 31. ナチス・ドイツの親衛隊将校。ユダヤ人大量虐殺の責任者。幼時ドイツからオーストリアに移った。電気会社、石油会社に勤めたが、オーストリア・ナチス党に入党し(1932)、親衛隊に入った。ドイツに戻り(33)、ナチス党学校に入り、ユダヤ人問題を研究。ドイツのオーストリア占領(38)後、オーストリアのユダヤ人移住中央事務局長となり、以後ナチス・ドイツの占領地の拡大とともに国家秘密警察のユダヤ人担当課長としてユダヤ人の強制移住・収容などを立案。国家保安部長官ハイドリヒの下にヴァンゼー会議が開かれ(42. 1. 20)、ユダヤ人絶滅の方針を決定、その責任者となる。第二次大戦中に殺されたユダヤ人は600万人といわれる。戦争終結時、親衛隊中佐。米軍捕虜収容所から脱走し、ナチス残党の秘密機関の手で国外に逃れ、アルゼンチンに渡って(50)潜伏。プエノスアイレスでイスラエル秘密警察に捕えられ(60. 5)、イスラエルで裁判にかけられ(61)、ユダヤ人大量殺戮の罪によって死刑にされた。

アヴァクーム Avvakum', Petrovich 1620(21)-82. 4. 24. ロシアの司祭。旧儀派の始祖。モスクワのカザン聖堂の司祭をつとめていたとき、ニコノフの教会改革に強く反対し、流刑された(1653)。はじめツァーリのアレクセイ*(ミハイロヴィチ)は彼をモスクワによび返し、和解させようとしたが、彼は拒否し、逆にニコノフを異端と宣言した。そこで、ついに破門され、プストゼーリエの岩に流刑された(67)。15年間にこの僻遠の地に幽閉されたが、節をまげず、《司祭長アヴァクーム自伝、1672-75》などを著した。この間、彼に従って正教会に対して抵抗する旧儀派が広がったため、ツァーリの勅令をもって、焚刑に処せられた。

アウヴェハント Ou'wehand, Cornelius 1920- スイスの日本研究家。オランダ生れ。チューリヒ大学東アジア研究所教授。琉球の民話をはじめ、日本の民俗学、宗教の研究がある。[主著] *Rilke in Japan*, 1960; *An annotated description of Hokusai's Shunga Ichiran*, 1962; *絵巻 Namazu-e and their themes*, 1964; *Aspekte der japanischen Familie*, 1971; *Rain ritual on Hateruma*, 1972; *Einige Bemerkungen über die "Handflächen"* Erzählungen von Yasunari Kawabata, 1975.

アヴェドン A'vedon, Richard 1923. 5. 15- アメリカの写真家。はじめアメリカ国務省の写真部に所属(1942-44)。のち *Harper's Bazaar* 誌のスタッフカメラマンとして入社(45)。以来ファッション写真で活躍、肖像写真で著名。映画の色彩監督でも好評を受ける。作品は実験的で人間の内面性の象徴、風刺等に魅力ある表現を試みている。<Vogue> 誌のスタッフカメラマン(66-75)。[主作品] *Observations*, 1959; *Nothing personal*, 1964; *The family*, 1976.

アヴェリ → エーヴリ

アウエルバッハ Au'erbach, Erich 1892. 11. 9-1957. 10. 13. ドイツ生れの文学者、文学史家。プロイセン国立図書館に勤めたのち、マールブルク大学ロマンス語文献学教授(1929-35)、トルコに亡命(36)、イスタンブールで講壇に立ち、この間の研究蓄積が第二次大戦後国際的評価を高めた。渡米(48)、ペンシルヴァニア州立大学、プリンストン高級研究所、イエール大学の教授を歴任。主著『ミメシス、西欧文学における現実描写 *Mimesis: the representation of reality in Western literature*, 1953(ドイツ語原書 1946)』は諸国語に翻訳された。[主著] 前記のほか: *Dante als Dichter der irdischen Welt*, 1929; *Das französische Publikum des 17. Jahrhunderts*, 1933; *Figura*, 1938; *Neue Dantestudien*, 1943; *Literatursprache und Publikum in der lateinischen Spätantike und im Mittelalter*, 1958.

アウクシュタイン Aug'stein, Rudolf 1923. 11. 5- 西ドイツの雑誌編集・経営者。ハノーヴァー生れ。週刊ニュース雑誌〈シュビゲル〉を創刊(1946)、編集および発行者となった。同誌がNATO(北大西洋条約機構)加盟国軍隊の合同演習計画を暴露して問題化した際(62)に、国家機密漏洩罪に問われて逮捕された。同誌はその後発展、西ドイツ最大の部数をもつ週刊誌となる。

アギレ Agui're Cer'da, Pedro 1879. 2. 6-1941. 11. 25. チリの政治家。下院議員(1915-21)、上院議員(21-27)。この間、法・文相(18)、内相(20-24)を歴任。急進党の指導者であったため、38年選挙では人民戦線の大統領候補として出馬、当選。産業開発公社(CORFO)設立による工業化の促進、民主的諸権利の拡大など、進歩的諸政策を実施した。

アクセルロッド Ax'elrod, Julius 1912. 5. 30- アメリカの薬理学者。ニューヨーク市立大学卒業(1933)。産業衛生研究所(35-46)、国立精神衛生研究所薬理学科長(55来)。神経末梢部におけるノルアドレナリンなどの取込み、貯蔵、遊離の機構を明らかにした。オイラー賞、カッツ賞とともにノーベル生理・医学賞受賞(70)。

アグノン Ag'non, Shmuel Yosef 本名: Samuel Josef Czaczkes 1888. 7. 17-1970. 2. 17. イスラエルの作家。現ポーランド領のガリシア生れ。パレスティナ(1907-14)、ドイツ(14-24)を経てエルサレムに居住(24来)。古代ヘブライ語を用いて、旧約聖書やタルムードを素材にユダヤ人の宗教観や内面の心理を叙述し、現代世界におけるユダヤ人およびイスラエルの生活と風土を叙事詩的に描写した。ノーベル文学賞受賞(66)。[主著] 花嫁の天蓋 *Hakhnasat kala*, 1919; 畏敬の日々 *Yamin nora'im*, 1938; 一夜の客 *Ore'ah nata lalun*, 1938; 一昨日 *Tmol shilshom*, 1945; 海の真中で *Bilvav yamim*, 1948.

アクロイド Ak'royd, Joyce 生年不明-オーストラリアの女流日本文学研究者。ケンブリジ大学で学位取得(1952)。クイーンズランド大学日本研究科主任教授(66来)。新井白石の『折たて柴の記』(Told round a bushwood fire, 1979)、高村光太郎の『失われたモナリザ』(Mona Lisa lost, 1976)を英訳した。[主著] 前記のほか: Japan today, 1970; The unknown Japanese, 1968; Poems from the Japanese, 1971; Refinement and escape (Nō and Kabuki), 1976。

アル・アサド al-Asad, Hāfiz 1928-

シリアの軍人、政治家。シリア共和国大統領(1971来)。ラタキヤ生れ。アラウィー派ムスリムに多くみられるように、少年期早くからバース党に入党。士官学校卒業(55)後空軍パイロットとしてイギリス、ソ連邦で訓練を受ける。バース党左派に属し、66年2月23日のクーデタ以後、国防相と空軍総司令官をつとめる(70迄)。政敵サラハ・ジャディード(Salah Jadid 1929-)を追放(70.11)、翌年3月から大統領となり、バース党最高指導者となった。ヨルダン内戦(70)の際も陸軍をPLO支援に送ったジャディードとは対照的に空軍の不介入を決定した。第四次中東戦争(73)では東部戦線の主力を形成し、アラブ世界のなかでのシリアの発言権をたかめた。しかし、戦争の政治的結果は、バース党内部の反対勢力の擡頭を許すことになった。他方、出身が人口の15%に満たない少数派のために人口の多数をしめるイスラム教スンニー派の掌握が国内政治で最大の課題である。リビアとの合邦を宣言した(80.9.10)。

アジェンデ Allen'de Gossens, Salvador 1908.7.26-73.9.11。チリの政治家。チリ大学医学部在学中から社会・政治運動に参加。チリ社会党の創立に加わり(1933)、書記次長(38-42)、書記長(42-43)、下院議員(37-45)、厚生相(39-42)、上院議員(45-70)を歴任した。3回にわたって大統領選挙に立候補して落選した(52, 58, 64)後、社会党、共産党などによる人民連合の支持で大統領に当選した(70)。生活水準引上げ、産銅業の国有化や農地改革の推進、社会主義諸国との国交樹立などの課題に着手したが、軍部のクーデタとの戦闘中大統領官邸で殺された(73)。

アジクウェ Azi'kiwe, Benjamin Nnamdi 1904.11.16- ナイジェリアの政治家。北部ズンゲルに生まれたが、ナイジェリア連隊書記であった父は東部出身のイボ族。21歳で渡米し、ハーワード大学、ペンシルヴァニア大学などで政治学、歴史学を学び民族主義に目覚める。イギリス、黄金海岸(ガーナ)で文筆活動を行なったのち、帰国(1937)してウェスト・アフリカン・パイロット紙の編集者となり、ナイジェリア青年運動(NYM)に参加して自治運動を展開。さらにナイジェリア民族会議(のちナイジェリア・カメルーン民族会議と改称)を創設して書記長となり(44)、独立達成とともに総督(60-63)、

共和制移行によって初代大統領(63-66)。軍部クーデタ(66)により下野を余儀なくされたが、イボ族を中心とする東部州がビアフラ共和国として分離独立を宣言(67)すると、その国際的承認獲得のために国外で活動したが、のちナイジェリアの再統合を主張。帰国後ただちにラゴス大学総長(72-76)に就任。軍政末期に政党禁止令が解けると、ナイジェリア人民党を組織し(78)、民政移管にそなえたが、大統領選挙(79)ではジャガリに屈した。[主著] Renascent Africa, 1973; Political blueprint of Nigeria, 1943; Military revolution in Nigeria, 1972。

アシュケナージ Ashkena'zy, Vladimir Davidovich 1937.7.6- ソ連邦生れのピアニスト。6歳でピアノの学習を始め、2年後にモスクワでデビューするという早熟ぶりを見せた。モスクワ音楽院へ進み(1955)、オボリン(L.N. Oborin)に師事。国際ショパン・コンクールで第2位に入賞(同)、エリザベート国際コンクール(56)、チャイコフスキー・コンクール(62)に優勝。その間米国演奏旅行を行う(58)。ロンドンにデビューして(63)英国に移住、その後イスラランドに移り、同国籍を取得(72)。古典派からスクリャービン、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの作品をレパートリーとし、高い評価を得ている。

アズィズ・アリー・アル・ミスリー 'Aziz 'Ali al-Misri 1878-1965。エジプトの軍人、政治家。カイロのチェルケス系商人の家に生まれる。イスタンブールで軍教育をうけオスマン・トルコ軍に勤務。いわゆる青年トルコ党〈統一進歩派〉の最初のメンバーのひとり。アラブの自治とトルコ・アラブ共同統治国家の創立をめざしたが、統一進歩派の汎トルコ主義に幻滅してアラブ民族主義に転換(1909)。第一次大戦中アラブの反乱に参加し(16)、メッカのアラブ軍参謀長にもなる。イギリスに対抗してエジプトの独立を獲得するためにドイツの援助をえようとした。親独派アリー・マールヘル内閣のもとで陸軍参謀総長(39)となるがイギリスの圧力で解任(40)された。西部砂漠戦線のドイツ軍に合流しようとするが失敗し逮捕される。52年7月革命の自由将校団にもサダーット*を通じて影響をあたえ、反英民族主義派将校の象徴とみなされた。駐ソ大使(53)に任命されるがほどなく辞職、政界から引退した(54)。

アスター As'tor, John Jacob, Baron 通称: Astor of Hever 1886.5.20-1971.7.19。イギリスの新聞経営者。父はウォルドフ・アストリア・ホテルの所有者で富豪の William Waldorf Astor。オクスフォード大学卒業。第一次大戦に少佐で従軍、負傷し片脚切断。ノースクリフ*から〈ザ・タイムズ〉紙を買収し(1922)、支配権を握った。しかし、同紙の政治的独立維持の手段として〈ザ・タイムズ〉信託財団を設立し(24)、株式を信託した。保守党下院議員をつとめ(22-45)、イギリス新聞評議会の初代会長になった(53)。

アストゥリアス Astu'rias, Miguel Angel 1899. 10. 19-1974. 6. 9. グアテマラの小説家。インディオの血をひく。大学で法律を学んだ後、時の独裁者オレリャーナに抗してパリに亡命(1924-33)、パリ大学で中央アメリカの古代文化を研究。この間に《グアテマラ伝説集 *Leyendas de Guatemala*, 1930》を上梓し、ヴァレリー*の絶賛を浴びる。帰国後は雑誌を主宰し、詩を発表するが、のち外交官生活に入り(46 来)、エル・サルバドル大使やフランス大使などを勤めながら著作活動を続ける。中米の小国を舞台に独裁政治を批判した《大統領閣下 *El señor Presidente*, 1946》や北米資本の収奪を糾弾した《緑の法王 *El Papa verde*, 1954》などは社会抗議の色彩が濃い。レーニン平和賞(66)、ノーベル文学賞(67)受賞。[主著] 前記のほか：とももろこしの人間 *Hombres de maíz*, 1949; 強風 *Viento fuerte*, 1950; 死者の目 *Los ojos de los enterrados*, 1960。

アズナヴール Aznavour', Charles 本名: Shahnourh Aznavourian 1924. 5. 22-

フランスのシャンソン歌手。パリ生れのアルメニア系。子供の頃から子役として舞台に立った。第二次大戦中ロッシュ(Pierre Roche)を知り、偶然的に機会からデュエティストとして歌うようになったが、自身、作詞作曲し、それを歌って独立した。愛の主題をやるせない、しわがれ声で歌い多くの共感を得た。たびたび来日。〈ラ・ボエム *La bohème*〉〈イザベル *Isabelle*〉〈マンマ *La mamma*〉で知られる。

アダムズ Ad'ams, Ansel 1902. 2. 20-

アメリカの写真家。サンフランシスコ生れ。風景写真の第一人者。ウェストン(Edward Weston)らアメリカ西部の写真家たちを主にした〈F 64 グループ〉(1932)に参加、ストリート写真による近代写真の成立に尽した。大型カメラを多く使用、技術的に完全主義者であり、《*Making a photograph*, 1935》により作品と理論を明確にした。ヨセミテの風景作品が多く、アメリカ国立公園の写真集により、グッゲンハイム財団の奨金を受け(46)、また特別会員に推された(48)。[主作品] 前記のほか：Yosemite and the Sierra Nevada, 1948; *My camera in Yosemite Valley*, 1949; *The land of little rain*, 1951; *Death Valley*, 1954。

アダム Adam', Henri-Georges 1904. 1. 18-67. 8. 27. フランスの彫刻家。はじめ画家、版画家として出発したが、彫刻に転向(1939-40 頃)、ピカソ*に認められる。切れのよい幾何学的形体をもとに堂々とした量感を表現。〈ル・アーヴル港のモニュメント, 1955〉など記念碑的大作を得意とした。そのほか、版画やタペストリー、舞台装飾、挿絵など活動は多彩。

アッカーマン Ac'kerman, Edward A. 1911. 12. 5-73. 3. 8. アメリカの地理学者。ハーワード大学で学位(漁業研究)取得(1939)後、第二次大戦中はワシントンで戦時の地域研究に従事。

その研究体験を基に、戦後、対日占領軍技術顧問として来日(46)、日本の資源問題の調査研究に助言を行い、その結果、当時の経済安定本部の中に資源調査会を創設。帰国後、シカゴ大学で教鞭をとり(48-55)、また TVA (Tennessee Valley Authority) の副総支配人(52-54)、カーネギー研究所理事(58 来)などの行政・調査機関に関係し、資源問題、研究開発のシステム化、更には、科学研究の限界などについて、総合的な考察を行った。[主著] *Japan's natural resources*, 1960; *Technology in American water development* (George O. G. Löff と共著), 1959。

アグギーエ Agyey, Saccidānand Hirānand 1911- インドのヒンディー語詩人、小説家、編集者。ウッタール・プラデーシュ州カシヤーの仏教遺跡発掘現場のテントで生まれる。考古局高官の父と共に北インド、カシュミール、東インド、南インドの各地で少年時代を過ごす。マドラス、ラーホールの名門カレッジで物理学を学ぶ。英文学の修士課程在籍中、テロリストの秘密組織に参加。逮捕(1930)。ついで英印軍情報将校(43-46)。詩集《*タール・サプタク*, 1943, 51, 58, 79》と文芸総合誌《*象徴*, 1947, 51, 74》の編集発行で文学運動・論争に重要な役割を果たす。半自伝的小説《*シェーカル*, ある生涯, 1940, 44》(第3巻は未刊)、詩集《*中庭のむこうの扉*, 1965》のほか、短編小説集、評論・エッセー集、詩劇、紀行、翻訳なども多い。インド最大の文学賞であるバーラティヤー・ギャーンピート賞受賞(79)。

アツジェ Atget', Jean Eugène Auguste 1857. 2. 12-1927. 8. 4. フランスの写真家。リブスに生まれ、幼時にパリに移った。少年期から船員、俳優等の職業を転々としたのち、写真に移り、大型組立カメラ、乾板等を入手、主に絵画の下絵としての写真を制作(1899)。やがてパリの風物、歴史的建造物、市民の商売、生活等を撮影記録した。作品は記録性を重んじ、近代リアリズム写真の原点として評価される。晩年は孤独と貧困のうちに死したが、没後アボット(Berencie Abbot)により世間紹介された。ニューヨーク近代美術館に約1万点の作品、約2千枚のガラス原板が収蔵され、パリには歴史的記念物博物館ほかに約1万2千点の作品、約4600枚のガラス原板が保存されている。

アッバード Abba'do, Claudio 1933. 6. 26- イタリアの指揮者。ミラノ音楽院でピアノを学び、ヴィーン音楽院でスワロフスキー(H. Swarowsky)に指揮を学ぶ。クセヴィツキー・コンクール優勝(1958)、ついでミトロポロス賞獲得(63)。ミラノ・スカラ座常任指揮者(69)、同音楽監督となり(71)、オペラおよび同オーケストラのレパートリーを拡充し、指揮者として不動の地位を得た。ヴィーン・フィルハーモニー管弦楽団(71)、ロンドン交響楽団(79)の各主席指揮者に就任。古典派作品から現代作品まで幅広いレパートリーを

もつ。

アップード 'Abbūd, Ibrāhīm 1900-

スーダーンの軍人、政治家。ハルトゥームのゴードン・カレッジ、陸軍士官学校卒業後スーダーン軍に入り(1925)、第二次世界大戦中はエリトリア、エチオピア、エジプト、北アフリカで勤務。中将に昇進(57)、翌年11月17日のクーデタで民族統一党とウソマ(イスラム共同体)党の連立内閣を倒した。軍最高会議議長に就任し、悪化していたエジプトとの関係改善につとめた。64年10月クーデタによる失脚まで大統領、首相、国防相を兼任した。

アデマール Adhémar', Jean 1908. 3. 18-

フランスの美術家。古文書学校を卒業後、パリ大学美術考古学研究所に学び学位取得(1938)。長くパリ国立図書館版画部長を務め、詳細な蔵品目録の作成、各種の版画展の開催を通じてフランス版画史研究に貢献した。のち同版画部名誉部長となり代表的美術雑誌<Gazette des Beaux-Arts>の編集長を兼ねる。[主著] 前記目録のほか: La lithographie en France, 1942; Lautrec, 1952; Daumier, 1954; 世界版画 Histoire de la gravure occidentale (共編), 16巻, 1972-74(日本で刊行)。

アーデン Ar'den, John 1930. 10. 26-

イギリスの劇作家。ヨークシャーに生まれ、ケンブリッジ大学で建築を専攻。ブレヒト*の影響もあり、社会政治問題に強い関心を懷き、「豚のように生きる Live like pigs, 1958」などで怒りの演劇の劇場に登場した。代表作に「マズグレヴ軍曹の踊り Serjeant Musgrave's dance, 1959」や「教養院のロバ The workhouse donkey, 1963」などがあり、妻マーガレッタ・ダーシー(Margaretta D'Arcy)との合作には、アーサー王とマーリンを描いた戯曲「強者の島 The island of the mighty, 1972」がある。[主著] 前記のほか: 戯曲: The waters of Babylon, 1957; Soldier, soldier, 1960; Armstrong's last goodnight, 1964。

アドルノ Adorno, Theodor Wiesengrund 1903. 9. 11-68. 8. 6. ドイツの社会哲学者。社会学および美学の領域で活躍。フランクフルト学派の代表的理論家。ユダヤ系家庭の出身。(A.)ベルク*に作曲を学び、青年時代、西洋音楽の急進的な批判者として注目を浴びる一方、フランクフルト大学で哲学を修め、「キルケゴール論 Kierkegaard: Konstruktion des Ästhetischen, 1933」で教授資格を得る。新しいマルクス主義社会研究をめざすホルクハイマー*らのフランクフルトの社会研究所に協力(所員, 1938)。ナチスを逃れてアメリカに亡命(38)。ホルクハイマーとともに「啓蒙の弁証法 Dialektik der Aufklärung, 1947」を著し、自然支配の原理による人間的・自然の破壊という観点から啓蒙の進行を根本的に批判した。また潜在的ファシストの社会的性格を剔抉した「権威主義的パーソナリティー The authoritarian personality,

1950」研究を主宰。第二次大戦後ドイツに帰国(49)して、フランクフルトに社会研究所を再建するかたわら、実証主義に対する批判を強め「否定的弁証法 Negative Dialektik, 1966」を展開した。[主著] 前記のほか: Philosophie der neuen Musik, 1949; Minima Moralia, 1951; Prismen, 1955; Einleitung in die Musiksoziologie, 1962。[全著作集] Gesammelte Schriften, 20巻(予定), 1970-(16巻まで刊行中)。

アニェッリ Agnelli, Giovanni 1921. 3. 12-

イタリアの企業経営者。イタリア最大の自動車会社フィアット社会長、アニェッリ財閥の総帥。フィアット社を創立した同名のジョバンニ・アニェッリの孫。トリノ大学法学部を卒業後、第二次大戦に従軍、戦後同社副社長(1947)、およびアニェッリ財閥の持株会社 IFI 社長(59)に就任した。後見者パレッタの引退とともにフィアット社会長となる(66)。その後、イタリアや欧州の企業界の重要問題にはつねに関係し、くすべての道はトリノに通ず」といわれた。

***アヌイ Anouilh', Jean** 後期の作品には戦後の状況に対応して冷めた、悲観的色彩が濃くなるが、深刻さを避け、風俗喜劇的にまとめたものが多い。その後も多産な演劇活動を続ける。[主著] ひばり L'alouette, 1953; Le boulanger, la boulangère et le petit mitron, 1968; Les poissons rouges 1970; Le scénario, 1976; Chers zoiseaux, 1976; Vive Henri IV, 1977。

アハテルベルフ Ach'terberg, Gerrit 1905. 5. 20-62. 1. 17. オランダの詩人。師範学校を卒業後、友人とともに、私家版詩集「1920年代の二人の詩 De zangen van twee twintigers, 1925」を出版して詩壇にデビュー。「出航 Afvaart, 1931」で名声をえた。最愛の人を失い、「霊魂の島 Eiland der ziel, 1939」において悲痛な調子と魔力的な詩語によって死者の魂を甦えさせた。プロテスタントの詩的伝統からは解放されているが、カルヴィニストとして、キリスト教の実存主義者の特徴を示している。P.C. ホーフト賞の第一回受賞者(1950)。[主著] 前記のほか: Dead end, 1940; Huis, 1943; Radar, 1946; Ballade van de gasfitter, 1953; Spel van de wilde jacht, 1957; Verzamelde gedichten, 1963。

アヒジョ Ahidjo', El Hadj Ahmadou

1924. 8. 24- カメルーンの政治家。仏領カメルーン北部のガルアでフラニ族首長の子に生まれ、中等教育終了後、郵政省の無線技師となる(1941)。イスラム青年運動に参加して政治意識を深め、第二次大戦後、地域議会議員(47)、フランス連合議会議員(55-58)をへて、カメルーン共和国(旧仏領)初代大統領(60-61)。英領カメルーンとの統合推進論者であり、英領南部地区が住民投票によって旧仏領との合併を決定すると連邦共和国初代大統領となり(61-72)、さらに制度改革により連合共和国に移行したさいもその初代大統領に選ばれた

(72 来)。国際面ではアフリカ統一機構議長(69-70)、中部アフリカ関税経済同盟議長(70)を歴任。[主著] Contribution to national construction, 1964。

アーフィエス Aa'fjes, Bertus 本名: Lambertus Jacobus Johannes A. 1914. 5. 12-

オランダの詩人、作家。ルーツェンとローマで考古学を修め、ジャーナリストになった。第二次大戦直前、文壇にデビューし、詩集《ミューズとの格闘 Het gevecht met de Muze, 1940》で才能を示し、恋への憧れ、メランコリー、女性と自然の美しさなど浪漫的モチーフを好んだ。自伝的な詩《ローマへの徒歩旅行 Een voetreis naar Rome, 1946》、聖書からえた靈感と現代的な言語感覚をもって歌った無韻詩《初めに In den beginne, 1949》は大きな評価をえた。旅を愛し、その旅行記は多くの愛読者をえ、ほかに小説と翻訳も発表している。[主著]: 前記のほか: 詩: Elf sonnetten op Friesland, 1944; Koningsgraf, 1948; De blinde harpenaar, 1955; 小説: Een laars vol rozen, 1942; De zeemeerminnen, 1946; In de schone Helena, 1960。

アプター Ap'ter, David Ernest 1924. 12. 18- アメリカの政治学者。カリフォルニア大学バークレー校(1961-69)、イェール大学政治学・社会学(69-71)の教授をへて、同大学の比較政治・社会発展の教授(71 来)。特にアフリカの政治発展の調査を行なった。[主著] The Gold Coast in transition, 1955; 近代化の政治学 The policies of modernization, 1965; Political change, 1973。

アップダイク Up'dike, John 1932. 3. 18- アメリカの作家。十代から小説を書き始め、ハーヴァード大学で英文学を学び、一時「ニュー Yorker」誌のスタッフを勤めながら詩、短編小説を発表。平凡な日常生活に絶望した青年を主人公とする《走れウサギ Rabbit, run, 1960》、全米図書賞を得た《ケンタウロス The centaur, 1963》、上流中産階級の夫婦たちの不毛な生活を描いた話題作《カッパルズ Couples, 1968》等の長編小説や《鳩の羽根 Pigeon feathers, 1962》等の短編小説集を書き、洒落た文体で現代アメリカの風俗を巧みに描く作家として確固たる地位を築いている。[主著] 前記のほか: 小説: 帰ってきたウサギ Rabbit redux, 1972; 結婚しよう Marry me, 1976。短編小説集: The same door, 1959; Museums and women and other stories, 1972。

アブデル・マレク Abdel-Ma'lek, Anouar 1924- エジプトの社会学者。カイロのアイン・シャムス大学哲学科卒業。1950 年代初め社会主義を志向する政治・文化活動を行ない、ナセル*政権の弾圧を受ける。パリに亡命(59-76)。この間、国立科学研究センター(CNRS)研究主任。また、国際社会学会副会長を務める(74-78)。主著《社会の弁証法 La dialectique sociale, 1972》は、〈歴史領域の深層〉を有するエジプトの社会、歴史を分析し、三大陸の諸民族の解放をめざすマルクス主義的歴史理論の構築を試みたものである。

アフラク 'Aflaq, Mishl (ム) Michel Aflaq 1910-

シリアの政治家。バース党創立者。ダマスカス生れのギリシア正教徒。パリ大学史学科卒業(1933)。イスラム教徒出身の盟友ビタール(Salāhu'd-Dīn Bitār 1912-)と共に中世アラブの繁栄と栄光を復興することを理念としてアラブ統一・自由・社会主義を鼓吹するバース(復興)党をつくる(42)。のちアラブ社会主義復興党と改称(53)。ビタールが党組織拡充と行政問題にあたり、アフラクはイデオロギー宣伝活動を主に担当した。この間、シリアだけでなく、レバノン、ヨルダン、イラクの代表から成る第一回バース党汎アラブ指導者会議をひらき(49)、シリアの国内政治の主導権をにぎった。エジプトとの合邦失敗後、党内抗争が激化しアフラクらいわゆる〈文民派〉はジャディード(Salāh Jadid 1929-)らの〈軍人派〉により追放された(66. 2)。レバノン、ブラジル亡命生活をへてイラクに招聘され(69)、イラク・バース党汎アラブ指導部書記長となった(70)。シリアから欠席裁判のまま反逆罪で死刑を宣告(71)されている。[主著] バース党の道 In the ways of the Ba'th, 1959。

アベベ A'bebe Bikila 1932. 8. 7-73. 10. 25. エチオピアの陸上競技選手。ローマ(1960)、東京(64)両オリンピックのマラソンで優勝、初の 2 連勝。ローマ大会では〈はだしの王者〉と騒がれた。2 連勝の功により下士官から将校へ特進。自動車事故で下半身麻痺となったが(69)、イギリスで開催されたパラリンピックのアーチェリー競技に車椅子で参加し、話題となった。

アベル A'bell, Kjeld 1901. 8. 25-61. 3. 5. デンマークの劇作家。南ユトランド出身。青年時代に社会科学とモダニズム芸術に強い興味を持つ。最初の戯曲《失われたメロディー Melodien, der blev væk, 1935》は軽快なタッチと巧緻な作劇術で小市民の生活を描き、劇作家として地歩を確立した。ナチズムの脅威が迫る頃から作風は左翼的な人生味を加えた。代表作《アンナ・ソフィー・ヘドウィー Anna Sophie Hedvig, 1939》は、ファシズムへの激しい抗議と、人間が深く正義感を傷つけられた時は自衛する権利があるという信念を潜めている。ドイツ軍進撃下にも自由な批判的立場を固執した。[主著] 前記のほか: ユーディット Judith, 1940; 女王再現 Dronning går igen, 1943; シルクボー Silkeborg, 1946; 雲の上の日々 Dage på en sky, 1947。

アーベントロート A'bendroth, Wolfgang 1906. 5. 2- ドイツの政治学者。フランクフルト、チュービンゲン、ミュンスター、ベルンの諸大学に学ぶ。反逆罪で懲役 4 年の判決を受け(1937)、服役後ナチスの懲罰部隊へ送られる。第二次大戦後ハレ大学講師(47)、ライプチヒ大学助教授、イェナ大学教授(48)、西ドイツに移り(49)、マルブルク大学教授(51-73)。官僚制を批判し、社会民主主義の理念を追求する。[主著] Bürokratischer Verwaltungsstaat und soziale Demokratie (H.

Sultan と共著), 1955; *Aufstieg und Krise der deutschen Sozialdemokratie*, 1964; *Wirtschaft, Gesellschaft und Demokratie in der Bundesrepublik*, 1965; *Sozialgeschichte der europäischen Arbeiterbewegung*, 1965, 1975; *Antagonistische Gesellschaft und politische Demokratie*, 1967, 1972; *Die Entwicklung der SPD von einer revolutionären zu einer staatsverhaltenden Partei*, 1979.

アーミテージ Ar'mitage, Kenneth 1916.

7. 18- イギリスの彫刻家。ヨークシャーのリーズ美術学校とロンドンのスレード美術学校に学ぶ。1958年のヴェネツィア・ビエンナーレ展でデヴィッド・ブライト賞を受賞し、国際的に評価されるようになった。

アミン Amin', Samir 1931. 9. 4-

エジプトの経済学者。カイロに生まれ、パリ大学を卒業後、カイロの経済開発機構上級職員(1957-60)、マリ共和国政府技術顧問(60-63)、ボワティエ大学、パリ大学、ダカル大学の経済学教授をへて、国連アフリカ経済開発計画研究所長(70来)。ブラック・アフリカ諸国の経済について多くの著作があるほか、世界資本蓄積論の立場から低開発理論を構築し、周辺資本主義構成体の概念を提起して、従属理論の発展に貢献した。[著書] *Trois expériences africaines de développement*, Mali, Guinée, Ghana, 1965; *L'accumulation à l'échelle mondiale*, 1970; *Le développement inégal*, 1973.

アミン・ダダ Amin' Dada, Idi 1923. 1.

1- ウガンダの軍人、政治家。北部の西ナイル地区アルアのカクワ族農民の子に生まれ、イギリス植民地軍(王国アフリカ人ライフル銃隊)に入隊(1946)。ウガンダ独立(62)の翌年大尉。以後国軍の中核にあって昇進をつづけ、陸・空軍司令官(66)、大将(68)。クーデタによりオボテ政権を打倒して軍事政権を樹立し、大統領に就任(71)。経済のアフリカ化の一環として外国籍アジア人約5万人を国外に追放する(72)など思いきった政策をとったが、徐々に独裁色を強め、終身大統領に就任(76)。国際的にはアフリカ統一機構議長(75-76)として名を高めたが、近隣諸国との対立、紛争がたえず、国内では度重なる肅清事件を起して国民の不信を買い、タンザニア領侵犯事件を契機に、タンザニア軍の支援を受けた亡命ウガンダ人からなるウガンダ民族解放戦線によって武力で打倒され、リビア経由(79)、サウディアラビアへ亡命した。

アームストロング Arm'strong, I Louis

愛称: Satchmo 1900. 7. 4-71. 7. 6. アメリカのジャズ・トランペット奏者、歌手。ニューオーリンズ生れ。クリオール(フランス系混血)居住区に育ち、少年時代に感化院でコルネットを覚えた。ブルースを基調とする豊かな感情表現にすぐれ、1920年代末から30年代にかけて最盛期を迎える。この時期、アンサンブル中心の従来のジャズの常識を覆してソロイストの役割を重視、ニューオーリンズ・スタイルを確立した。

40年代後半からはジャズの本流を離れたが、特異な濁み声による歌はより広く大衆に浸透した。[作品] ウェスト・エンド・ブルース *West End blues*, 1928; ハロー・ドーリー *Hello Dolly*, 1964.

2) **Neil A.** 1930. 8. 5-

アメリカの宇宙飛行士。パーデュー大学を卒業後(1955)、国家航空諮問委員会のルイス飛行推進研究所で働き、ついで同委員会、後の国家航空宇宙局(NASA)のテスト・パイロットを経て、同局の有人宇宙船センターに勤務(62-70)、この間ジェミニ8号の船長として初めて月を周回し(66)、アポロ11号(乗員3名)の船長として月面に降り立った最初の人間となった(69)。のち、シンジナティ大学航空宇宙工学教授(71来)。

アメリンク A'meling, Elly 本名: Elisabeth Sara Ameling 1938. 2. 8-

オランダのソプラノ歌手。オランダ各地で声楽を学んだ後パリでベルナック(P. Bernac)に師事。ジュネーヴ国際コンクールで第1位を獲得し(1958)、国際的な活躍を開始する。レパートリーはドイツ・フランス歌曲、オラトリオ等演奏会形式によるものが中心で、オペラ出演は数少ないが、絶妙な歌唱力によって高い評価を得ている。

アメンダラ Amen'dola, Giorgio 1907.

11. 21-80. 6. 5. イタリアの政治家。共産党指導者。自由主義政治家の父ジョヴァンニ(Giovanni)がファシストに襲撃された傷が原因で死亡(1926)、反ファシズム運動に身を捧げる決意を固め、非合法下の共産党に入党する(29)。逮捕され(32)流刑となったが、フランスに脱出(37)、イタリアに戻って(43)レジスタンス闘争に指導的役割を果たした。戦後は一貫して党の要職を占め、党内右派の立場を代表した。晩年には党史、レジスタンス史、自伝などの執筆に力を注ぎ多くの著作を残した。[著書] *Lettere a Milano*, 1974; *Storia del Partito Comunista Italiano 1921-1943*, 1978; *Un'isola*, 1980.

アモンド Al'mond, Gabriel Abraham

1911. 1. 12- アメリカの政治学者。プリンストン大学(1954-59)、スタンフォード大学(63来)などの政治学教授を歴任。アメリカ政治学会会長(65-66)を務めた。後進国の発展についての比較研究に先鞭をつけた。[著書] *The politics of developing areas* (S. Verba と共著), 1960; *The civic culture* (G. B. Powell と共著), 1963.

アユーブ・カーン Ayūb Khān, Muḥam-

mad 1907. 5. 14-74. 4. 19. パキスタンの軍人、政治家。アリーガル大学に学んだ後、イギリスのサンドハースト陸軍士官学校に入る。将校となり(1928)、第二次大戦に従軍。パキスタン独立後に陸軍少将(48)、最高司令官(51)、国防相(54)。ミルザー大統領(Iskander Mirza 1899-1969)により戒厳司令官に任ぜられるが(58)、ミルザーを排除し、自ら大統領の権限を掌握。農業改革、外資導入による工業発展に力を入れる一方、5段階の地方自治体制度

の確立による基礎民主制を導入し(59)、中央政府と国民の直接を試みた。新憲法を導入(62)。中国・ソ連との外交関係を樹立し、中国から膨大な軍事援助を受ける(62 来)。ジャンム・カシミールをめぐるインドと戦争状態に入り(65)、国連の仲裁で休戦協定を結ぶが、カシミール問題をめぐる国民の不满、自由選挙制要求の学生運動などによる国内の政治不安を収拾できず、全権を陸軍総司令官ヤハ・カーン(Aghā Muḥammad Yahya Khān 1917-)に譲る(69)。**[著者]** Friends not masters: a political autobiography, 1967.

アラバール Arrabal', Fernando 1932. 8. 11- フランスの劇作家、小説家。スペインに生まれ、フランスに亡命。変幻極まりないさまざまな登場人物、エロチシズム、サド・マゾヒズムにより、人間の不条理と混沌を描く<パニック演劇>を首唱。戯曲に《大典礼 Le grand cérémonial, 1963》《建築家とアッシリア皇帝 L'architecte et l'empereur d'Assyrie, 1965》《悦楽の園 Le jardin des délices, 1969》等、小説に《鱈の埋葬 L'enterrement de la sardine, 1961》ほか 2 篇がある。映画にも監督・主演している。

アラファート 'Arafāt, Yāsir 1929. 8. 27- パレスティナ解放機構(PLO)執行委員会議長。アル・ファタハ中央委員会議長。自称エルサレム生れ。1951 年頃から解放運動に本格的に参加し、カイロ大学工学部を卒業(56)。クウェートなどで働きながら現 PLO 政治局長カドゥミーらと一緒に抵抗組織をつくる、のちに現職につく(69)。ヨルダン内乱(70. 9)で PLO は軍事的に大打撃をうけたが、ラバトのアラブ首脳会議(74. 10)で PLO をパレスティナの唯一の代表と認めさせることに成功し、同 11 月国連総会で演説。イスラエルの解体が不可能との認識から、ヨルダン川西岸とガザ地区に<ミニ・パレスティナ国家>をつくる現実的構想をもっていたが、とくに PFLP(パレスティナ解放人民戦線)などの拒否戦線の反撥を招いた。その後、第二次シナイ協定に参加しなかったシリア、イラクなどのアラブ強硬派やソ連の支援をうける。来日(81)。

アーランド A'land, Kurt 1915. 3. 28- 西ドイツのプロテスタント神学者。ベルリン(1946)、ハレ(47)、ミュンスター(58)各大学の新約聖書および古代教会史教授。(E.)ネストレの《Novum Testamentum Graece》(第 10 版(1914)からその子 Erwin Nestle が改訂)の第 21 版(1957)以来の改訂者。また《The Greek New Testament, 1966》の編者。**[著者]** Die Säuglingstaufe im Neuen Testament und in der Alten Kirche, 1961; Kurzgefasste Liste der griechischen Handschriften des Neuen Testaments, 1963.

アリ A'li, Muhammad 旧名: Cassius Marcellus Clay 1942. 1. 18- アメリカのプロボクサー。ローマ・オリンピック(1960)のラ

イトヘビー級で優勝し、プロに転じる。リストン(S. Liston)を倒し世界ヘビー級チャンピオンとなり(64)、翌日北米黒人イスラム教団体ブラック・ムスリム(Black Muslim)に入信、現在の名に改めた。徴兵令を拒否(67)して裁判に付されたが、最高裁から良心的兵役忌避者として放免された(71)。復帰してフォアマン(G. Foreman)を倒し(74)、この間剝奪されていたチャンピオン・タイトルを取戻した(78 迄)。

アリ A'ri Thorgilsson 1067(8)-1148. アイスランドの神父、歴史家。西アイスランドの名家に生まれ、首領兼神父となったが、その深い学識によって一般に<賢者アリ Ari frodi>と呼ばれる。母国語で、同島の発見から植民の事情を 1120 年頃までたどった最初の歴史書《アイスランド人の書 Is-lendingabók》を書いた(1125 頃)。僧正や先輩サイムンド*の意見で書き改めたものが現在に伝わる。彼は厳正で批判的な態度に努め、これが以後のアイスランドの歴史記述や<サガ>の方法を深く規定した。その後も植民者たちの足跡を辿り、膨大周到な<植民の書 Landnámabók>の基礎を据え、少なくともその一部を書いたとされる。

アリー Al'lee, Warder Clyde 1885. 6. 5- 1955. 3. 18. アメリカの生態学者。シカゴ大学動物学教授。溪流性小動物や海浜の無脊椎動物群集、熱帯多雨林内の動物分布などの生理生態学的研究を行い、相互接触や集合の生態学的意義を明らかにし、これを実験原生動物個体群で確めた。個体間の協同を重視し、動物社会の成立発展に最適密度があることを示した。**[著者]** Animal aggregation: a study in general sociology, 1931; Principles of animal ecology (A.E. Emerson, O. Park, T. Park, P.P. Schmidt と共著), 1949; Cooperation among animals with human implications, 1951.

アリー・サブリー 'Ali Šabirī 1920. 4. 30- エジプトの政治家。士官学校卒業後、パレスティナ戦争に従軍(1948)。7 月革命(52)後、大統領府担当相(57-58)、首相(64. 3-65. 10)。65 年からはアラブ社会主義連合(ASU)書記長と副大統領を歴任。ナセル*死後、大統領となったサーダート*との政争が激化。元内相シャラウィー・ゴマー、国防相ムハンマド・ファウズィー、前大統領府担当相サーミー・シャラフらと共に、サーダートがリビアやシリアとの合邦を事前に協議することなく決定(71. 4)したことを集団指導原則にもとめて厳しく批判したが、翌 5 月に副大統領を解任され、12 月には反政府陰謀計画連坐の容疑で終身禁錮となる。この政変により政府内部における親ソ・アラブ社会主義勢力は決定的に退潮した。

アリスメンディ Arismen'di, Rodney 1913. 3. 21- ウルグアイの革命家。共産党に入党(1931)。同党中央委員(37 来)。党機関誌紙<正義>、<日刊人民>の編集に従事(40-44)。同中央委執行委員(44 来)。同モンテビデオ県書記

(50), 同全国書記(51-55), 同全国書記局長(55)を歴任して, 同中央第一書記をつとめる(55 来)。理論機関誌「研究」編集長(56 来)。なお, 46 年以來, 国会議員であったが, 73 年のクーデタののち, 逮捕(74), 釈放され(75), モスクワに亡命した。ラテンアメリカ共産主義運動の主要な理論家の一人である。[主著] *Algunos temas de debate acerca de nuestra revolución*, 1968。

アーリン Ah'lin, Lars Gustaf 1915. 4. 4- スウェーデンの作家。国民高等学校を卒業後, 様々の職についた後, 作家生活に入る。人間心理の矛盾, 相剋を動的に奔放に描く点でドストエフスキー*に通ずる, との批評もある。[主著] 短篇集: わたしを待つ眼はない *Inge ögon väntar mig*, 1944; 死はわたしのもの *Min död är min*, 1945; もしも *Om*, 1946; 敬虔な殺人 *Fromma mord*, 1952; ニッキの味 *Kanelbiten*, 1953; 大いなる忘却 *Stora glömskan*, 1954。

アルヴァレス Al'vare, Luis Walter 1911. 6. 13- アメリカの物理学者。シカゴ大学卒業(1932, 学位 36)。カリフォルニア大学教授(45 来)。初期の核物理の仕事として, K 捕獲(37), He³(39)の発見などがある。第二次大戦中はレーダーの研究(40-43), 原爆開発に参加(43-45)。広島への原爆投下の際, その一機に搭乗していた。戦後は大泡箱による素粒子実験の方法論を確立。数多くの共鳴状態を発見, その性質を解明してノーベル物理学賞受賞(68)。新粒子 Ξ , ω の発見や τ , θ の同質量性も彼のグループの業績である。

アルゲージ Arge'zi, Tudor 本名: Ion Nicolae Theodorescu 1880. 5. 21-1967. 7. 14。ルーマニアの詩人。ブカレストの出身。父を失い, 12 歳で働き始める。14 歳の時に詩作を始め, 詩壇に認められる。しかし思想的に行きづまり, 19 歳で修道院に入り聖職者となる。スイスのカトリック大学に留学後間もなく聖職を離れ(1905), 約 5 年間に放浪と貧窮のうちに過す。帰国(10)後, 詩人, ジャーナリストとしての活動を再開。その詩は深い思想性に富む。詩集「ふさわしい言葉 *Cuvinte potrivite*, 1927」(薔薇の花 *Flori de mucigai*, 1931)「人間賛歌 *Cintare omului*, 1956」, 小説「受胎告知の墓地 *Cimitirul Buna-Vestire*, 1936」などがあり, 30 数巻の著作集が刊行中。

アルグリッチ → アルヘリッチ

アルスドルフ Als'dorf, Ludwig 1904. 8. 8-78. 3. 25。ドイツのインド学者。ハンブルク大学教授(1950 来)。同インド文化・歴史研究所を主宰。ヴェーダ解釈学, 初期ジャイナ教, 仏教の原典研究, 中期インド・アリアン語, アショカ*王碑文の研究に優れた研究を残した。[主著] *Der Kumārapālapratibodha. Ein Beitrag zur Kenntnis des Apabhramsa und der Erzählungsliteratur der Jainas*, 1928; *The Āryā stanzas of the uttarajhāyā*, 1966; *Kleine Schriften*, 1974。

アルチュセール Althusser', Louis 1918. 10. 16-

フランスのマルクス主義哲学者。エコール・ノルマル卒業。同校哲学教師(1948 来)。同年よりフランス共産党员。主著「甦るマルクス *Pour Marx*, 1965」でマルクスにおける「認識論上の切断」を唱え, 弟子バリバール*らとの共著「資本論を読む *Lire <le Capital>*, 1965, 1968」でヘーゲル主義との断絶のもとにマルクスの構造論的読解を提示した。「レーニンと哲学 *Lénine et la philosophie*, 1969」などで哲学と科学の関係および哲学の政治的本質を捉え直す。人間主義を斥ける独自のマルクス主義理論および実践は, 多くの論議を呼んでいる。70 年前後の政治的状況をふまえた自己批判を介して, 党の変革を訴えた。[主著] 前記のほか: *Réponse à John Lewis*, 1973; *Philosophie et philosophie spontanée des savants*, 1974; *Éléments d'auto-critique*, 1974; *Ce qui ne peut plus durer dans le parti communiste*, 1978。

アルトール Artaud', Antonin 1896. 9. 4-1948. 3. 4。フランスの詩人, 演劇理論家, 演出家, 俳優。幼時の脳膜炎がもとで, 成人後も激痛に悩まされたが, 人間の思考の根元に迫ろうとして詩を書き, 厳しい禁欲を通じて「見者」の域に立ち入ろうとした。はじめはシュールレアリスム運動に加わり, «リンボの臍点 *Omblic des limbes*, 1925»(「神経の秤 *Pèse-nerfs*, 1925」などの詩作から演劇に転じ, バリ島の舞踊劇に刺戟されて「残酷演劇宣言 *Manifeste du théâtre de la cruauté*, 1932」を発表, 人間の生の無残さを演劇化しようとした。精神病院を転々としたのち, «演劇とその影 *Le théâtre et son ombre*, 1938」を著して, (J. L.)パロー*をはじめ 50 年代以後の演劇に影響を与えた。人間の内面・心理を排して, 俳優の身体活動のうちに完全に人間の思考を溶解してしまおうとした。演劇の言語はシンボルこそ現実的なものだという考えをもとに, 叫び声, 身体のもふり, 騒音, 行為, 照明などの総体を駆使してエロスや恐怖を表現しようとし, 性格や家庭の悲喜劇を描いた伝統的な演劇を否定した。

アルバー Ar'ber, Werner 1929. 6. 3-

スイスの細菌学者。ジュネーヴ大学卒業。パーゼル大学微生物学教授(1971 来)。DNA を分解する酵素(制限酵素)を大腸菌から発見し, かつそれを分離することに成功した。(H.O.)スミス*, ネーサンズ*とともにノーベル生理・医学賞受賞(78)。

アルバース Al'bers, Josef 1888. 3. 19-1976. 3. 24。アメリカの画家, 美術教育家。ドイツ生れ。ベルリン王立美術学校(1913-15), エッセン工芸学校(16-19), およびミュンヘン美術学校のシュトゥック*の絵画教室(19-20)で学ぶ。さらにヴァイマルのパウハウスで学び(20-23), 以後パウハウスの教師として予備課程, ガラス工房, 家具工房の授業を担当した(23-33)。パウハウス閉鎖(33)後, アメリカのブラック・マウンテン大学教授(49 迄)。ついでイェール大学デザイン学部長となり(50-59), メキシコ,

キューバ、チリ、ペルー等でも美術を教えた。抽象美術の作家としてばかりでなく、また美術とデザインの教育、とくに色彩教育のすぐれた指導者であった。[主著] Interaction of color, 1963.

アルバートフ Alpa'tov, Mikhail Vladimirovich 1902. 12. 10- ソ連邦の美術史家。

モスクワ生れ。モスクワ大学教授 (1943 来)、モスクワ芸術アカデミー会員 (54 来)。学風はコンダコフ*らと同じくヴィーン学派の影響を受ける。[主著] 世界美術史 Всеобщая история искусства, 3 巻, 1948-55 (独訳 1961-64); ルーブレフ A. Rublev, 1943, 1962; ブッサン Poussin-problems (Art Bulletin 17 所収), 1935.

アルフヴェン Alfvén, Hannes Olof Gösta 1908. 5. 30- スウェーデンの物理学者、天文学者。ウプサラ大学卒業。ストックホルムの王立工科大学電気理論教授 (1940-45)、同電子工学教授 (45-63)、同プラズマ物理学教授 (63 来)。電磁流体力学という分野をひらき、天文学や地球物理学に応用。英国王立天文協会金賞 (67)、ノーベル物理学賞 (70)、ソ連邦科学アカデミー・ロモノソフ金賞 (71) を受賞。[主著] Cosmical electrodynamics, 1950; On the origin of the solar system, 1954; Cosmical electrodynamics: Fundamental principles, 1963; Worlds—Anti-worlds, 1966.

アルフォルス Ahl'fors, Lars Valerian 1907. 4. 18- フィンランド生れの数学者。ヘルシンキ大学 (1938-44)、チューリッヒ大学 (44-46)、ハーヴァード大学 (46-78) の各教授。被覆面に関する論文 (35) に対し、オスローでの国際数学会議 (36) において、第一回のフィールズ賞が授与された。22 歳にして約 20 年間未解決であった整関数の漸近値に関するタンジョワ (Arnaud Denjoy 1884-1974) の予想を解決して以来 (29)、研究の対象は関数論の多方面、すなわち、値分布論、リーマン面、等角写像、擬等角写像、タイヒミュラー空間等にわたり、いずれの分野においても、発表された論文は中心的役割を果たした。現在はクライン群とその関連分野において活躍中である。[主著] Complex analysis, 1953; Riemann surfaces, 1960 (L. Sario と共著); Conformal invariants, 1973.

アルヘリッヒ Ar'gerich, Martha 1941. 6. 5- アルゼンチンの女流ピアニスト。生地でスカラムツァに学んだ後ヨーロッパに渡り (1955)、グルダ*、マガロフ (N. Magaloff)、ミケランジェリ (B. Michelangeli) に師事。ブナーニ国際コンクールとジュネーヴ国際コンクールで優勝 (57)。さらに国際ショパン・コンクールで優勝し (65)、名声を不動のものとした。その演奏は盤石の技術に支えられた女流らしい感性の発揚を特色とし、バッハ*からラヴェル*までをレパートリーとしている。

アルベルティ Alber'ti, Rafael 1902. 12. 16- スペインの詩人、劇作家。シュルレアリスム的な処女詩集《陸の船人 Marinero en

tierra, 1925》で国民文学賞受賞。のちに共産党員となり (31)、スペイン内戦 (36-39) では人民戦線の闘士として活躍。戦後亡命してアルゼンチンに線んだが、フランコ*の死後スペインに戻った (77)。[主著] 前記のほか：恋人 La amante, 1926; 石灰と石 Cal y canto, 1927; 天使について Sobre los ángeles, 1929.

アルベンス Ár'benz Guzmán, Jacobo 1913. 9. 14-71. グアテマラの軍人。陸軍中佐として他の将校たちとともに、ウビコ*独裁制打倒のための革命に参加 (1944)、革命委員会メンバー (44-45)、陸相 (49-50)。大統領に選出され、翌年に就任 (51)。進歩的な農地改革法を公布 (52)、ユナイテッド・フルーツ社のプランテーションを改革の対象にするなど、民主的改革の速度を上げたため、米国政府によって危険視された。ダレス*國務長官によって「共産主義」のレッテルをはられ、アメリカがホンジュラスで組織した反革命軍の侵入の前に、メキシコ大使館へ亡命 (54)。その後、家族とともにメキシコへ出国した。60 年代末にはキューバに居を移してグアテマラの独裁的諸政権との闘いに備えた。メキシコで客死。

アールマン Ahl'mann, Hans Wilson (Wilhelmsson) 1889. 11. 14-1974. 3. 10. スウェーデンの地理学者。ストックホルム大学卒業。20 世紀初頭からノルウェー、スピッツベルゲン、グリーンランドなどをふりだしに、北半球ばかりでなく、南極にも足をのぼし、氷河研究、とくに気候変化と氷河の消長との関係について優れた業績を遺した。ストックホルム大学教授 (1925-50)、国際地理学会会長 (50-60) などを勤めて、地理学の発達、交流に貢献する一方、駐ノルウェー大使 (50-56) として二国間のみならず国際関係の改善にも尽力した。[主著] Glaciological research on the North Atlantic coasts, 1948; Glacier variations and climatic fluctuations, 1953.

アルミランテ Almiran'te, Giorgio 1914. 6. 27- イタリアの政治家。ネオ・ファシズムの指導者。第二次大戦中、従軍記者としてアフリカ戦線で活動。1943 年 9 月以降ドイツ軍の保護下でムッソリーニ*が北イタリアに樹立したイタリア社会共和国に所属する。ネオ・ファシスト党のイタリア社会運動 MSI の結成に加わり (46)、書記長 (46-50)。彼の強硬路線は党内で少数派となったが、69 年書記長に返り咲き、70 年代初めのネオ・ファシズム運動の高揚をもたらした。ついで王党派と結んだ総選挙 (72) で 50 議席を獲得したが、その後党内に分裂が生じて指導力が弱まった。

アレイクサンドレ Aleixan'dre y Merlo, Vicente 1898. 4. 28- スペインの詩人。弁護士資格をえたが病弱のため詩作に専念 (1925)。いわゆる (1927 年世代) の重要メンバー。代表作《破壊、もしくは愛 La destrucción o el amor, 1935》から一貫して人間の存在や愛といった基本的テーマを追求し、ノーベル文学賞受賞 (77)。

[主著] 前記のほか: 楽園の影 *Sombra del paraíso*, 1944; 心の歴史 *Historia del corazón*, 1954; 認識の対話 *Diálogos del conocimiento*, 1975.

アレクセーエフ Alekse'ev, Vasilii 1942. 1.7-
ソ連邦のスーパースター級重量

あげ選手。世界一の力持ちといわれている。1970年以來世界選手権(6連勝)、オリンピックなどの主要大会で全て優勝。その間、75回世界記録を更新した。

アレバロ Arévalo Bermujo, Juan 1904. 9.10-
グアテマラの政治家、教育者。ウビコ*独裁制(1931-44)の最後の10年間、アルゼンチンに亡命し、トゥカン大学、ラブラタ大学などで教鞭をとる。ラテンアメリカの民主主義者たちのあいだで名声を得、独裁制に反対する革命行動党の支持もとりつた。革命による独裁制の倒壊(44)後、帰国して大統領に選出された。政権担当期(45-51)に、主として政治面で民主主義的な一連の改革を実施した。アルベンス*大佐に政権を移譲し(51)、ラテンアメリカ各地で大学教授、文筆家として活動した。63年の大統領選挙に出馬の意志を表明して、軍のクーデタを誘った。[主著] *Guatemala. La democracia y el imperio*, 1954; *Fábula del tiburón y las sardinas*, 1956.

アーレント A'rendt, Hannah 1906. 10. 14-75. 12.5. アメリカの女流政治哲学者。ドイツ生れ。ユダヤ系家庭に育つ。ハイデルベルク大学でヤスベルス*に学ぶ。ナチス政権成立後パリで亡命教授活動に従事(1934-40)、さらにアメリカに亡命(41)、帰化(51)。ユダヤ関係の団体などで仕事をし、55年からシカゴ大学(63-67)などの教授。ナチズムとボルシェヴィズムによる全体的支配の総体的な解明に着手、《全体主義の起源 *The origins of totalitarianism*, 1951, 1958》において、テロルとデマを介した支配形態の基礎が国民国家の崩壊、大衆社会の成立にあることを跡づけた。また、大衆社会を公的領域(政治)と私的領域(家族)の区別が崩壊した時代の社会として位置づけた《人間の条件 *The human condition*, 1958》等によって、現代の精神の危機的状況を鋭く考察した。[主著] 前記のほか: 革命について *On revolution*, 1963; イェルサレムのアイヒマン *Eichmann in Jerusalem*, 1965.

アロー Ar'row, Kenneth Joseph 1921. 8.23-
アメリカの経済学者。ニューヨーク市立大学、コロンビア大学に学び、コールズ研究所研究員(47-49)、スタンフォード大学教授(49-68)をへてハーヴァード大学教授(69来)。その業績は個人的選好と社会的価値の関係の数理的分析、一般均衡モデルの定式化と均衡解およびその安定性の吟味、最大原理を用いた成長・投資理論、非線型計画法、不確実性の理論、組織と情報理論など、多方面に及んでいる。J.B. クラーク賞(57)、ノーベル経済学賞(72)を受賞。[主著] 社会的選択と個人的評価 *Social choice and individual values*, 1951, 1963; *Studies in linear and non-linear programming* (L. Hurwicz, H. Uzawa と共編), 1958;

General competitive analysis (F. Hahn と共著), 1971; *Essays in the theory of risk-bearing*, 1971; 組織の限界 *The limits of organization*, 1974.

アロンソ Alon'so, Dámaso 1898. 10. 22-
スペインの詩人、批評家、文学学者。

スペイン文学全般にわたる批評活動を展開したが、とくに黄金時代の詩人ゴンゴラ*の再評価で知られる。《怒りの年 *Hijos de la ira*, 1944》を代表作とする詩人であると同時に、ジョイス*や(T.S.) エリオット*らの翻訳紹介にもつとめ、また欧米諸国で教鞭をとった。[主著] 前記のほか: スペイン詩 *Poesía española*, 1950; ギンゴラ研究 *Ensayos y estudios gongorinos*, 1955.

アンガー An'ger, Hal Oscar 1920. 5. 24-
アメリカの医学物理学者。カリフォルニア大学卒業(1943)。同大学ドナー研究所に勤務(46来)。医用イメージング装置の開発に多彩な業績があり、彼の名をとってアンガー・カメラと呼ばれるラジオアイソトープ・カメラを発明した。これは核医学の臨床用に世界中で用いられている。

アングーロ・イニゲス Angu'lo íñiguez, Diego 1901. 7. 18-
スペインの美術史学者。グラナダ大学(1925)、セビーリャ大学(27)、マドリッド大学(40)の各教授、ディエゴ・ベラスケス研究所長、プラド美術館館長(68)等を歴任、王立歴史アカデミー会長(76来)、王立サン・フェルナンド美術アカデミー会員。スペイン最高の美術研究誌《*Archivo Español de Arte*》の編集主幹でもある。内戦(36-39)後空白化したスペイン美術史学界において今日の学者の大半を育成した。大著《ムリーリョ *Murillo*, 3巻, 1980》は、偏見の対象となってきた17世紀のスペイン画家を再評価するもの。[主著] 前記のほか: *Historia del arte hispanoamericano*, 3巻, (E. Marco, M. Buschiazio と共著), 1945-50; *La pintura española del renacimiento* (*Ars Hispaniae* 12), 1954; *La pintura española del siglo XVII* (*Ars Hispaniae* 15), 1958; *Pintura española, Madrid, siglo XVII, primer tercio* (P. Sánchez と共著), 1969; *Pintura española, Toledo, siglo XVII, primera mitad* (P. Sánchez と共著), 1972.

アンジェイフスキ Andrzejew'ski, Jerzy 1909. 8. 19-
ポーランドの作家。カトリックの立場から出発、1938年に発表した長編《心の秩序 *Tad serca*》で文学アカデミー賞受賞。ナチス占領下のワルシャワで地下創作活動を続けたが、その体験は戦争文学の傑作である短編集《夜 *Noc*, 1945》に結実した。小説《灰とダイヤモンド *Popiół i diament*, 1948》は第二次大戦後の政治的・社会的変革に伴う道徳的葛藤を描いたものとして知られ、また自由主義的立場からスターリン体制を批判した諷刺的歴史小説《闇は地をおおう *Ciemności kryją ziemię*, 1957》、《天国の門 *Bramy raju*, 1960》など多くの作品がある。[主著] 前記のほか: 小説: 金色の狐 *Złoty lis*, 1953. 長

編：跳びはねて山を行く Idzie skacząc po górach, 1963.

アンダーソン An'derson, Philipp Warren 1923. 12. 13- アメリカの物理学者。ハーヴァード大学卒業(1943, 学位 49)。ベル電話研究所の物理部門に勤め(49-76)、かたわらケンブリッジ大学客員教授(65-75)を経てプリンストン大学教授(75 米)。52年にフルブライト交換教授として東京大学で講義。固体物理の理論、とくに磁性と超伝導に業績が多い。ロウエル(J.M. Rowell)を指導して直流ジョセフソン効果を観測し(63)、理論的に解明した。金属の局在磁気モーメントと非晶質物質の電気伝導の理論に対し、同じく固体理論のヴァン・ヴレック*(旧師)、(N.F.)モット*と共にノーベル物理学賞受賞(77)。[主著] Concepts in solids, 1963.

アンデルシュ An'dersch, Alfred 1914. 2. 4-80. 2. 21. 西ドイツの作家。ミュンヘン生れ。共産党活動のためダッハウ強制収容所体験を持つ。第二次大戦に従軍中軍隊を脱走し米軍捕虜となる。この体験は中編『自由のさくらんぼ Die Kirschen der Freiheit, 1952』に実る。リヒター(Hans Werner Richter 1908-)と雑誌『叫び Der Ruf』を発刊した(1946)が翌年米占領軍に発禁処分を受け、これが文学集団『47年グループ Gruppe 47』の成立につながる。このサークルは60年代半ばまで多くの新人の育つ場となった(解散 77)。長編『ザンジバル Sansibar oder der letzte Grund, 1957』で自由への渴望をテーマとする作風を確立。50年代に放送劇を芸術の分野に高めた一人でもある。[主著] 前記のほか：放送劇：Die Bürde des weissen Mannes, 1954。長編：Die Rote, 1960；Efraim, 1967；Winterspelt, 1974。

アンデルソン An'dersson, Dan (Daniel) 1888. 4. 6-1920. 9. 16. スウェーデンの詩人。貧しい学校教師の家に生まれ、信仰心の篤い父親の影響の下に育つ。早くから山林労働者、代用教員などをして自活。短編集『炭焼き物語 Kolarhistorier, 1914』で文壇に登場。続いて『炭焼き番の歌 Kolvaktarens visor, 1915』、詩集『黒いバラード Svarta ballader, 1917』、二つの自伝的小説『家なし三人 De tre hemlösa, 1918』『ダヴィッド・ラムの遺産 David Ramms arv, 1919』などを発表。典型的なプロレタリア詩人であるが、政治やイデオロギーではなく、よりよき世界への渴望を、時には東洋の神秘主義をまじえた雰囲気の中に歌い上げた。一生貧しかった彼は、ストックホルムの安宿の一室で、害虫駆除剤の有毒ガスで中毒死した。その詩は自身の作曲になるものを含めて多くレコード化され人々に愛好されている。[全集] Samlade skrifter, 5巻, 1941。

アントニオーニ Antonio'ni, Michelangelo 1912. 9. 29- イタリアの映画監督。映画批評の執筆や短篇記録映画の監督をへて

『Cronaca di un amore, 1950』で劇映画監督としてデビュー、以後、現代人の孤独を描く独自の作風へすむ。『女ともだち Le amiche, 1956』『くさすらい Il grido, 1957』を経て『情事 L'avventura, 1959』で世界的な名声を得、その後も一作ごとに問題を投げかけている。[主作品] 前記のほか：夜 La notte, 1960；太陽はひとりぼっち L'eclipse, 1961；赤い砂漠 Il deserto rosso, 1964；砂丘 Zabriskie point, 1970；さすらいの二人 The passerger, 1974。

***アンドリッチ An'drić, Ivo** 代表作の『ドリナの橋 Na Drini ćuprija, 1945』、『ボスニア物語(トラヴニク年代記) Travnička hronika, 1945』を発表。ユーゴスラヴィアの歴史の主題と人間の運命を叙述するその叙事詩的筆力によって、ノーベル文学賞受賞(1961)。ほかに『呪われた中庭 Prokleta avlija, 1954』がある。

アンドレオッチィ Andreot'ti, Giulio 1919. 1. 14- イタリアの政治家。デ・ガスペリ*の知己を得てキリスト教民主党的の創設に参加(1944)、制憲議会議員を経て、第一回総選挙(48)以来連続して下院議員に当選。デ・ガスペリ首相のもとで内閣官房次官を務め(47-53)、以後もほとんどの内閣に入閣、のち首相となる(72-73)。社会党との連立による中道左派政権が行き詰まったと、再び首相となり(76-79)、共産党の閣外協力による政治運営を試みたが、党内右派の反発によって不成功に終わった。

アンドロポフ Andro'pov, Yurii Vladimirovich 1914. 6. 15- ソ連邦の政治家。労働者出身。水運技術学校を出て(1936)、コムソモールオルグとなって頭角をあらわし、カレリアのコムソモール中央委員会第一書記となる(40)。戦後にカレリア党中央委員会第二書記(47)から中央に帰り、ハンガリー大使(53-57)、ソ連共産党中央委員会対外国共産党連絡部長を経て、中央委員(61)、中央委員会書記(62-67)となった。この間中ソ論争で中国側との交渉にあたった。国家保安委員会議長(67 米)、党政治局員(73 米)。

アンネ・フランク → フランク

アンフィンセン An'finsen, Christian Boehmer 1916. 3. 26- アメリカの生化学者。ハーヴァード大学医学部で学位を受け(1943)、国立衛生研究所に勤務(50 米)。リボ核酸分解酵素について、アミノ酸の配列(一次構造)を初めて決定し、また立体構造の解析を行なった。この研究で立体構造と活性中心との関係および一次構造と立体構造との関係が明らかになった。スタイン*, ムア*とともにノーベル化学賞を受賞(72)。